

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年9月3日

この週は全州で降雨が見られたが、特に東部3地区で集中し州の2分の3の地域で1~4インチを記録した。北東地区では多い所で9~12インチとなっている。平均農作業可能数は3.7日であった。異常な降水の為全州で小麦の収穫は遅れ9月1日現在60%の硬質春小麦が収穫された状態である(昨年:88%、平年:77%)。デュラム小麦の収穫完了は27%であり(昨年:61%、平年同期:46%)、昨年及び平年より遅れている。

8月1日付けUSDAの春小麦(デュラム小麦を除く)収穫予想では、単位収量は29.0bu/ac(7月1日:31.0、昨年:34.0bu/ac)と7月1日の予想より悪くなった。収穫予想面積6,800,000エーカー(昨年:6,900千エーカー)、収穫量:197,200千ブッシェル(昨年:234,600千Bu)となっている。デュラム小麦の8月1日予想は、単収25.0bu/ac(昨年:26.0bu/ac)、収穫量予想は48,750千ブッシェル(昨年:54,600千Bu)である。

2002年9月1日現在

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	13	26	54	7
Last week (%)	15	35	47	3
Last year (%)	15	34	50	1
5-yr. Ave. (%)	10	26	58	6

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	14	29	52	5
Last week (%)	17	34	47	2
Last year (%)	8	24	64	4
5-yr. Ave. (%)	8	24	61	7

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring wheat (%)	11	26	37	25	1
Durum wheat (%)	6	18	48	28	0

小麦生育状況：次ページ

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況 2002年9月3日（続）

2002年9月1日現在：

小麦生育状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat Combined (%)	60	47	88	77
Durum wheat Combined (%)	27	16	61	46

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

州南西地区にて収穫された小麦の品質も報告され出したが、水分12%ベースで蛋白質は平均で15%以上（昨年同地区では14.57%）をしめしている。容積重は昨年を下回る傾向である。収穫後期になり各地で大量な降水が記録され、収穫に遅れを出しているが、小麦粒の病害が心配される。特に赤かび病（scab）の発生が心配である。

以上